

電部
四玉の巻
二冊

天保九年

13
2946
1





45 へ13
2946
1-200
1
特

昭和十年
二月二十二日
購求



開帳

本尊釋迦如來
面向不背之玉

唐高宗皇帝守本尊

飛^ダ靈寶等

右來亥四月朔日ヨリ
當寺令開帳者也

龍都

八足山
天蓋



あはれづい
ふいづい
まふいづい

ちの年のま
のしるし
あはれづい
ふいづい
まふいづい
あはれづい
ふいづい
まふいづい



あはれづい
ふいづい
まふいづい
あはれづい
ふいづい
まふいづい



枯木ニ鷹

梅引不動尊

三尊佛

あまを
あまを
あまを
あまを
あまを

あまを
あまを
あまを
あまを



あまを
あまを

面向不背玉

四月廿九日
あまを
あまを
あまを
あまを
あまを
あまを
あまを
あまを
あまを



又此トのあつちたるのへたまやらの
 こととていふことありつゝ、こゝにや
 上るけしと目下よりいふあやのつとら
 さあわがあつちくはあつちくといふ
 ちれとていふことありつゝ、こゝにや
 新主人

身あつち
 松川
 猿市



こゝにや
 こゝにや
 こゝにや



おとうの
しんがらふの
八百屋あつちうとんげ
のうのうとゆくのや
そらとてあまを
かしませる

八百屋あつちうとんげ
のうのうとゆくのや
そらとてあまを
かしませる

Shirayama
Mitsunobu
Nan

あつちうとんげ
八百屋あつちうとんげ



八百屋あつちうとんげ
のうのうとゆくのや
そらとてあまを
かしませる

あつちうとんげ
八百屋あつちうとんげ
のうのうとゆくのや
そらとてあまを
かしませる



とあまきみの
 まれとあみて
 たまのれのちり
 めとくろくぬひて
 おらぐれはるるる
 こひめまるとい
 よりまがらひあふ
 あむさんかう
 だんきりみそを
 つくしあめさけ
 まつりあめさけ
 おまを



おのあまきみの
 結いまひてま
 こねまめめめ
 うさあうさ
 こころもあ
 たいあてこれ
 こころ

けいさ
 けいさ
 けいさ
 けいさ

可くも

このまゝ

やーい

くらまらけん

あつ

能と

ま

ひま

ひまふと

よろこぶ

さあ

い

よろ

あ

け



あつ
ま
ひま

喜三戯作



